

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

| | | | | | | |
|-------------|--|--|-------------------------|--------------------------------|-------------------------|--|
| 施策番号 | 13 | － | 施策名 | 在宅医療・介護連携事業の推進 | | |
| 担当部課 | 福祉部長寿課 | | 関係部課 | | | |
| 基本情報 | 総合計画 | 基本方針 | 3 | 人がいきいきとつながるまち | | |
| | | 分野別項目 | 8 | 高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える | | |
| | | 施策の進め方 | － | | | |
| | まちづくり行程表 | フラッグ | 2 | 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～ | | |
| | | 政策分類 | 5 | 障がい者でも要介護でも認知症でも大丈夫 | | |
| | その他(関係法令、要綱等) | 介護保険法 | | | | |
| 施策開始の背景、経緯等 | 地域において疾病や要介護状態にある高齢者数は増加し続けており、医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ市民を地域でケアしていくために、双方の連携が必要となっている。 | | | | | |
| 施策の目的等 | 施策の内容 | (どのような施策なのか) 一人ひとりが住み慣れた地域で健やかに暮らしていく仕組み(地域包括ケアシステム)の構築のために医療・介護職種の多職種による協働・連携の体制を整える | | | | |
| | 施策の対象 | (誰、何を対象にしているか) 医療・介護従事者及び行政機関 | | | | |
| | 施策の意図 | (対象をどのような状態にしたいか) 対象者間の協働・連携を深め、地域包括ケアシステムの構築を進める。 | | | | |
| | 施策に係る主なコスト | ① 電子@連絡帳システム賃貸借 | 2,592 千円 | ② | 千円 | |
| 目標・成果推移 | 施策に係る取組み | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 中期(おおよそ3年後) | 長期(おおよそ5年後) |
| | A | 目標 | 目標 | 目標 | 目標 | 目標 |
| | | 市内病院・ケアマネとの連携のため、入退院調整部会を設置 | 顔のみえる関係づくりの強化 | 専門部会の設置により新しい参加者の確保 | 専門職による主体的な地域包括ケアシステムの検討 | 在宅医療・介護のみでなく、福祉との連携も図り、世代を問わず対応できる仕組みをつくっていく |
| | 多職種連携 | 実績 | 実績 | | | |
| | | 準備のための部会開催等、部会を年3回実施 | 多職種が参加することができる交流会を年4回実施 | | | |
| | B | 目標 | 目標 | 目標 | 目標 | 目標 |
| 実績 | | 実績 | | | | |
| 環境変化 | 他市町での取組状況や施策を取り巻く環境変化 | (他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町も電子@連絡帳を導入しており、平成28年度から広域化を図っている。 | | | | |
| | 改善状況 | (何をどのような状態に改善したのか) 顔のみえる関係づくりのため、交流会を実施した。 | | | | |
| 評価 | 目標達成状況 | (目標・成果推移に対する達成状況や進捗状況など) 医療・介護従事者の参加人数は増加している。 | | | | |
| | 課題 | (目標達成状況を踏まえ、課題を整理) 会議等に参加しているメンバーが固定されている。 | | | | |
| 今後 | 今後の方向性、改善点 | (施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 長久手市として、医療・介護連携のためにどのような方向で進んでいくか早急に検討する必要がある。 | | | | |